

【準2級・解説】

リスニング

PARTE IV (N13 – N16)

N13 b

【正答率】41.2%

F: Una sposa è finita al pronto soccorso per un chicco di riso in un orecchio. Lo spiacevole incidente è avvenuto a Malgrate, in provincia di Lecco. Al termine della cerimonia, quando lei ed il marito sono usciti dalla chiesa accolti dal tradizionale lancio di riso, un chicco le è accidentalmente entrato in un orecchio. Nonostante i primi vani tentativi di soccorrerla, ha dovuto concludere il suo "giorno più bello" nel reparto di otorinolaringoiatria del più vicino ospedale.

- a) Un chicco di riso le è entrato in un occhio
- b) È dovuta andare in ospedale
- c) Non si è potuta sposare

【訳】(女)ある花嫁が、片方の耳に入った 1 粒の米のせいで、救急病院に行くはめになりました。この気の毒な事故はレッコ県のマルグラータで起きました。式の終わりに、伝統的なライスシャワーに迎えられて、彼女と夫が教会から出たとき、たまたま 1 粒が彼女の耳の中に入りました。彼女を助けようと当初いろいろと試みられた甲斐もなく、彼女はその「最良の日」を最寄りの病院の耳鼻咽喉科で締め括らなければなりませんでした。

a) 1 粒の米が彼女の片方の目に入った b) 彼女は病院に行かなければならなかった c) 彼女は結婚することができなかった

N14 c

【正答率】76.4%

F1: Che c'è? Hai perso qualcosa?

F2: Ho steso il bucato ad asciugare, ma mi manca un calzino.
Guardavo se mi è caduto da qualche parte.

F1: Sei sicura che non ti sia caduto giù mentre lo stendevi.

F2: No, no. sicurissima. Ho riguardato anche dentro la lavatrice: niente. Però da qualche parte deve pur esserci...

F1: Ma che calzino era, uno dei miei?

F2: Sì, verde.

F1: Ah, allora ho capito! Scusami, è colpa mia. Per sbaglio ne ho messo a lavare uno solo. L'altro è rimasto in camera.

Il calzino mancante:

a) è caduto giù

b) è rimasto nella lavatrice

c) non è stato lavato

【訳】(女1) どうしたの？何かなくしたの？

(女2) 洗濯物を広げて干したんだけど、靴下が片方足りないの。どこかに落としたのか見てたのよ。

(女1) 干しているときに落としたわけじゃないのは確かなの？

(女2) ええ、ええ。確かすぎるほどよ。洗濯機の中も見直したんだけど、何もなかったわ。でもやっぱりどこかにはあるはずなのよ……

(女1) いったいどんな靴下なの、私の靴下のひとつ？

(女2) そうよ、グリーンだよ。

(女1) ああ、だったらわかったわ！ごめんなさい、私のせいだわ。間違えて、片方だけを洗い物に出したのよ。もう片方は私の部屋に残ってるわ。

足りない靴下は:

a) 下に落ちた b) 洗濯機の中に残っている c) 洗濯されなかった

N15 a

【正答率】52.4%

M: Un incidente è avvenuto poco dopo le 13:00 in via del Fortino. Il signor Antonio La Quaglia, di anni 47, alla guida di una Fiat 500 rossa di proprietà di sua sorella, a causa della strada ghiacciata ha perso il controllo dell'auto ed è andato a sbattere contro un grosso albero. Gravi danni alla macchina, ma per fortuna solo ferite leggere per il guidatore.

Il signor La Quaglia:

- a) guidava la macchina di sua sorella
- b) è andato a sbattere contro un'altra macchina
- c) è rimasto gravemente ferito

【訳】(男)フォルティノー通りで 13 時過ぎに交通事故がありました。アントニオ・ラ・クアツリャ氏 47 歳は、氏の姉(妹)の所有する赤のフィアット 500 を運転していて、凍結した道路のせいで車を制御できなくなり、大きな木に衝突しました。車は大破しましたが、幸いなことに、運転者は軽傷だけでした。

ラ・クアツリャ氏は: a) 彼の姉(妹)の車を運転していた b) 別の車に衝突した c) 重傷を負った

N16 c

【正答率】41.2%

M: Quando eravamo bambini, tutti gli anni trascorrevamo le vacanze in campagna. I miei prendevano in affitto una villa, tutti gli anni la stessa, e ce ne stavamo lì per almeno tre mesi. Allora la scuola ricominciava in ottobre, non in settembre come adesso. Al mare non ci andavamo spesso, anzi ...quasi mai.

Quando era bambino:

- a) ha vissuto per molti anni in campagna
- b) la scuola cominciava un mese prima
- c) andava al mare molto raramente

【訳】(男)私たちが幼い子供だった頃は、毎年休暇を田舎で過ごしていたものです。私の両親は別荘を 1 軒、毎年同じのを借りていて、私たちは少なくとも 3 か月間はそこにいたものです。当時は学校は今のよう 9 月ではなく、10 月に再開していました。海へはそれほど頻繁には、というより……めったに行かなかったものです。

彼が幼い子供だった頃: a) 長年田舎で暮らした b) 学校は今より 1 か月早く始まっていた c) 海へはごくまれにしか行かなかったものだ

PARTE V (N17 – N22)

Primo ascolto (N17-N19)

M: Cara Susi! Che piacere vederti!

F: Quanti anni son passati!

M: Eh, sì, almeno dieci! Ma tu non sei cambiata affatto!

F: Davvero? Beh, neanche tu!

M: Beh, insomma... Ero più magro, non avevo capelli bianchi... Ma dimmi, Raul come sta?

F: Bene. Ora abitiamo in un'altra casa, lo sai?

M: Sì, l'ho saputo.

F: Devi venirci a trovare.

M: D'accordo. E, dimmi, i tuoi fratelli come stanno?

F: Bene, tutti e due. Sergio ha il suo ristorante, te lo ricordi?

M: Come no, ci ho mangiato tante volte... E Sandro come sta? Dipinge ancora?

F: Sì, ma in questi ultimi anni soprattutto scolpisce. Fa sculture con il legno.

M: Lui abita sempre in campagna, a... come si chiama il posto?

F: A Rosano.

M: Sì, ecco, a Rosano. Oh, che voglia che ho di vederli tutti e due. Salutali tanto da parte mia, d'accordo?

F: Sì, certo. Gli dirò che ti ho incontrato.

【訳】(男)やあ、スーズィ！君に会えてなんて嬉しいんだろう！

(女)何年経ったかしら！

(男)ああ、そうだね、少なくとも十年になる！でも君はちっとも変わっていないね！

(女)本当に？まあね、あなただって！

(男)ああ、まあね……僕はもっと痩せていたし、白髪じゃなかったけどね……でも、ねえ、ラウルは元気なの？

(女)元気よ。私たちは今、別の家に住んでいるのよ。

(男)うん、それは聞いたよ。

(女) 私たちに会いに来てくれなくちゃだめよ。

(男) いいよ。それから、ねえ、君の兄弟たちは元気かい？

(女) 2 人とも、元気よ。セルジォは自分のレストランを持っているけど、覚えてる？

(男) もちろんだよ、あそこでは何度も食事したことがあるよ……それからサンドロは元気？相変わらず絵を描いているのかい？

(女) ええ、でもここ数年はとりわけ彫刻をしているの。木を用いた彫刻を作ってるわ。

(男) 彼は相変わらず田舎に住んでいるのかな……あの場所は何て言ったっけ？

(女) ロザーノよ。

(男) ああ、そうだった、ロザーノだ。ああ、ぜひ 2 人のどっちにも会いたいなあ。僕からくれぐれもよろしくと伝えてくれよ、いいかい？

(女) ええ、もちろんよ。あなたに会ったことは彼らに伝えるわね。

	VERO	FALSO
N17 Raul e Susi hanno cambiato casa	a	b
N18 Sergio ha un nuovo ristorante	a	b
N19 Sandro non dipinge più	a	b

N17 a 【正答率】60.5%
【訳】ラウルとスーヅィは転居した

N18 b 【正答率】60.1%
【訳】セルジォは新しいレストランを持っている

N19 b 【正答率】66.5%
【訳】サンドロはもう絵を描いていない

Secondo ascolto (N20-N22)

F: La clementina (nome scientifico *Citrus clementina*) è un agrume che appartiene al gruppo dei mandarini, come, tra gli altri, il

tipico mandarino mediterraneo (*Citrus reticulata*) e quello giapponese, detto comunemente mandarino Satsuma, portato in Italia verso la fine dell'Ottocento. La clementina (comunemente conosciuta anche col nome di mandarancio) è una varietà creata invece in Algeria intorno al 1940. Da allora è stata sempre presente sul mercato italiano ed è oggi il frutto più venduto nel nostro paese dopo le arance.

【訳】(女)クレメンティン(学名 *Citrus clementina*)は、マンダリンのグループに属する柑橘類です。なかでも、代表的な地中海マンダリン(*Citrus reticulata*)や、19世紀の末頃イタリアにもたらされ、一般的にサツمامンダリンと呼ばれている日本のマンダリン(温州ミカンのこと)と同様にです。(マンダランチョの名でも一般的に知られている)クレメンティンは、それに引きかえ、1940年頃アルジェリアで作られた品種です。それ以来ずっとイタリアの市場に出ている、今日ではオレンジに次いでわが国で最も売れ行きのよい果物です。

	VERO	FALSO
N20 La clementina è un tipo di mandarino	a	b
N21 È una varietà creata alla fine dell'Ottocento	a	b
N22 In Italia oggi è il frutto più venduto	a	b

N20 a 【正答率】92.7%

【訳】クレメンティンはマンダリンの一種である

N21 b 【正答率】73.8%

【訳】これは19世紀末に作られた品種である

N22 b 【正答率】29.2%

【訳】これは現在イタリアで最も売れ行きのよい果物である

PARTE II (N44 – N52)

N47/48

【訳】あなたは全然電話をかけてこないし、全然あなたの声を聞かせてくれないし……運のいいことに、私は時々あなたのお姉(妹)さんに出会うので、彼女が私にあなたの近況を伝えてくれて、私に事情を知らせてくれるのよ。

N47 c

【正答率】81.1%

【解説】< farsi sentire >は「自分の声を聞かせる」という意味の決まった表現です。

N48 a

【正答率】38.6%

【解説】< tenere + 人 + al corrente >は「～に事情を知らせる」を意味する成句です。

N49/50

【訳】「君、手をどうしたの?」「僕の猫のひっかき傷だよ」「おやおや、君は彼を怒らせたんだね!」「違うよ、猫はわざとやったんじゃないんだ、じゃれたかっただけなんだよ」

N49 b

【正答率】61.4%

【解説】gatto「猫」が人間の mano「手」に対して与える跡が残るようなダメージとしてふさわしいのは、b)の graffio「ひっかき傷」です。a)の pugno「パンチ」、c)の soffio「吹いた息」、d)の calcio「キック」はどれも不適切です。

N50 a

【正答率】86.3%

【解説】< con intenzione >は「わざと」を意味する表現です。b)の iniezione「注射」、c)の illusione「錯覚、幻想」、d)の impressione「印象」はどれも文脈に合いません。

N51/52

【訳】お前が蚊に刺されたのはわかったわ、でも搔くのはやめなさい、でないと化膿しますよ！

N51 b

【正答率】50.2%

【解説】主語の zanzara「蚊」がする行為としてふさわしいのは b)の *pungere*「刺す」です(*punto*はその過去分詞)。a)の *ferire*「傷つける」、c)の *bucare*「穴をあける」、d)の *picchiare*「殴る」はどれも不適切です。

N52 c

【正答率】54.9%

【解説】適切な再帰動詞を選ぶ問題です・文脈から見て、*grattarsi*「搔く」が正解です。それ以外の選択肢 a)の *strapparsi*「裂ける、ずたずたになる」、b)の *tagliarsi*「自分の体を切る」、d)の *lavarsi*「自分の体を洗う」のどれも文脈に合いません。

PARTE III (N53 – N59)

【訳】しばしばもっと単純に「うじ虫入りチーズ」と呼ばれる「カース・マルツ」は、ピリッとした味をもった非常に独特のチーズであるだけでなく、イタリアの地方的伝統の中でも最も風変わりな食物のひとつです。話題となっている地方はサルデーニャ、毎年、夏はとりわけそうですが、それ以外の時期にも、その海の美しさでヨーロッパ中から観光客を引き寄せている、地中海の真ん中にある素晴らしい島です。このチーズはペコリーノチーズで、小さなチーズハエが卵を産み付けた後に、3か月から6か月までのさまざまな期間、熟成するにまかせられます。この小さな昆虫の幼虫はたいへんな食いしん坊で、チーズの内部に入り込んで、そこにトンネルや地下道を掘り、やがてチーズを黄色っぽくてしっとりしたクリーム状のペーストに変えてしまいます。チーズがちょうどいい具合に「熟成」したら、半球状の上部を切って蓋を取った状態にして、残ったうじ虫を追い払うために数時間日なたに置いた後(ただし、本当の「通」はその「住人」まるごと食べるのを愛好しているようです)、もうひとつのこの島の固有の産物である、薄くてパリパリしたパンである「パーネ・カラサウ」を添えて出します。事実、こうして熟成したチーズは均質なクリーム食感と、極度にピリッとした風

味を持っています。

今日でもなお、ただし羊飼いによってのみ製造されていますが(スーパーマーケットやデリカテッセンでは買えません)、農林食品政策省によって、イタリアの伝統的農産加工食品(PAT)のリストに加えられました。2004年にサルデーニャ州は欧州連合に保護指定原産地表示(DOP)を申請したものの、今日まで、取得することに成功していません。

「カース・マルツ」がサルデーニャ固有のチーズであるとしても、イタリアのいくつかの地方でも他の種類のうじ虫入りチーズを見つけることができます。すなわち、アブルッツォ州の「マルチェット」、フリウーリ地方の「サルテレッロ」、エミリア・ロマーニャ州の「フルマイ・ニス」など、その他いろいろです。もしも皆さんがサルデーニャ旅行中に羊飼いの家の前を通ることがあれば、もう食べかけのものはないか、味見させてもらえないかと、いつでも尋ねてみればいいのです。もちろん丈夫な胃袋をしている必要がありますが、おそらく試してみる価値はあるでしょう。多くの人の言うところによれば、これは正真正銘の珍味なのですから！

N53 a 【正答率】86.7%

【訳】「カース・マルツ」はサルデーニャのチーズである

N54 b 【正答率】94.8%

【訳】毎年多くの観光客がこれを味わうためだけにサルデーニャに行く

N55 a 【正答率】93.1%

【訳】スーパーマーケットでは売られていない

N56 b 【正答率】54.5%

【訳】これは欧州連合から DOP の認証を取得した

N57 b 【正答率】85.4%

【訳】少なくとも 6 か月間熟成しなくてはならない

N58 a 【正答率】82.8%

【訳】これはクリーミーな食感と強烈な風味を持っている

N59 b

【正答率】83.7%

【訳】似たようなチーズは他の3つの州にのみ存在する

作文

PARTE IV (N60)

Guardate le illustrazioni e raccontate la storia usando il passato.
(dalle 120 alle 150 parole)

【訳】イラストを見て、過去形を使って、話をしてください(120語から150語の間で)。

【模範解答例】

A Marco piaceva passare il suo tempo libero con il suo cane, al parco. Un giorno, mentre era lì che leggeva il giornale, ha incontrato una donna simpatica e carina. Si chiamava Maria e anche lei aveva un cane, una femmina. I loro cani hanno cominciato a giocare insieme e così anche Marco e Maria si sono messi a parlare. Prima di salutarsi, si sono scambiati i loro numeri di telefono e da quel giorno si sono sentiti spesso e si sono incontrati al parco tante altre volte. Così hanno cominciato a conoscersi meglio e si sono innamorati. Quando un giorno Marco, regalándole un anello, le ha chiesto di sposarlo e Maria ha risposto di sì. Così si sono sposati e dopo un anno è nata una bella bambina. Anche i loro cani hanno avuto due cuccioli e tutti hanno continuato a vivere insieme felici. (147 parole)

【訳】マルコは公園で彼の犬と一緒に自分の余暇を過ごすのが好きでした。ある日彼は、そこにいて新聞を読んでいる間に、感じがよくてかわいらしい一人の女性と出会いました。彼女は名前をマリーアといい、彼女もやはり犬を、雌犬を連れていました。彼らの犬と一緒に遊び始めたので、そこでマルコとマリーアも話し始めました。別れの挨拶をする前に彼らはお互いの電話番号を交換しました。その日から彼らはしばしば電話をかけ合い、それからまた何度も公園で会いました。こうしてお互いのことをもっとよく知り出し

て、恋に落ちました。ある日マルコが、彼女に指輪を贈って彼と結婚してくれるよう頼むと、マリーアは彼にはいと答えました。こうして彼らは結婚し、1年後にはかわいらしい女の子が生まれました。彼らの犬も2匹の子犬を産み、皆で一緒に幸せに暮らし続けました(147語)。